2025 年 3 月 5 日

中性子基礎基盤部会からの報告

基礎基盤部会長　北口雅暁

1 基礎基盤部会について

1.1 設立の経緯

これまで日本は中性子基盤技術の研究開発において世界をリードする立場にいたが、2000 年代初頭、ヨーロッパの研究機関が連携して中性子とミュオンの基盤技術を整備するプログラム「NMI3」が興り、J-PARC 建設時期ともあいまって、日本における中性子基盤技術の優位性を確保する必要性が認識された。基盤技術の研究開発には息の長い支援が必要であり、中性子科学会初めての部会の設立が提案された。検討の末、2006 年 6 月 17 日評議員会で基礎基盤部会の設立が承認された。同年の総会において、本部会の設立が決議され、基礎基盤部会規定が制定された。

1.2 目的

中性子基礎基盤部会は中性子に関する基礎・基盤に関する専門分野の研究活動を支援し，その発展に貢献する．（中性子基礎基盤部会要綱：2006 年 6 月 17 日評議員会承認、2008 年 11 月 30 日改定評議員会承認、2019 年 1 月 10 日改定評議員会承認）

2　活動報告

2.1 部会総会

2024 年 12 月 5 日に部会総会を開催した。以下の活動の報告、現状の説明、今後の予定などを議論した。

2.2 研究会

加速器学会と中性子科学会が連携して設立した「加速器中性子連携タスクフォース」がある。基礎基盤部会は、加速器学会側と協力してインフォーマルミーティングを継続して開催している。山形市で開催された加速器学会会期中 2024 年 8 月 2 日に開催した。

「研究用原子炉を用いた原子核素粒子物理科学」(FPUR) が継続して開催されている。基礎基盤部会は協力しており、過去 2 回共催した。直近の第 4 回 FPUR は、2024 年 12 月 2、3 日に名古屋大学にて中性子科学会の後援で開催した。

2.3 中性子科学会会長、評議員との面談

2024 年 9 月 3 日、2024 年 11 月 22 日の 2 回、中性子科学会会長、評議員との面談していただいた。部会の現状と今後の方針について話し合った。

2.4 中性子関連の専門用語の標準化

2017 年の評議員会報告にもある中性子関連の用語の標準化に向けた議論を、定期的にオンラインミーティングを継続して行なっている。

3 今後の予定

2024 年 12 月 5 日に開催した部会総会にて、以下を確認した。

3.1 Web ページやメーリングリストの再作成

情報共有しやすいサービスを検討している。過去の情報を回復中。

3.2 研究会の開催

関連研究会への参加、中性子科学会への後援の申請等を行う。

3.3 中性子関連の専門用語の標準化

中性子関連の専門用語の標準化の議論を継続して行う。基礎基盤の将来計画の議論を開始する。

4 部会長の現状と今後

現部会長は 2024 年度一期目 1 年目。2025 年は引き続き北口が部会長を務める予定。

部会員リストを別添。

以上

別表：部会員リスト（2016）

舟橋春彦	奥隆之	酒井健二	加美山隆	宇津呂雄彦
田中敬二	鈴木淳市	加倉井和久	金子純一	増田康博
平井光博	北口雅暁	清谷多美子	広田克也	田崎誠司
日野正裕	清水裕彦	杉山正明	鳥飼直也	山形豊
川端祐司	菊地賢司	中川洋	曽山和彦	藤原健
篠原武尚	新井正敏	岩佐和晃	大友季哉	岩下芳久
米村雅雄	安達智宏	鬼柳善明	中谷健	
大井元貴	三島賢二	古坂道弘	鈴木次郎	

奥平琢也、藤家拓大　が追加